

(1) 家庭における教育

①子どもに対する理解

問21 あなたは、お子さんについて、次にあげることをどの程度知っていますか。

(よく知っている、知っている、どちらともいえない、知らない、まったく知らないから選択)

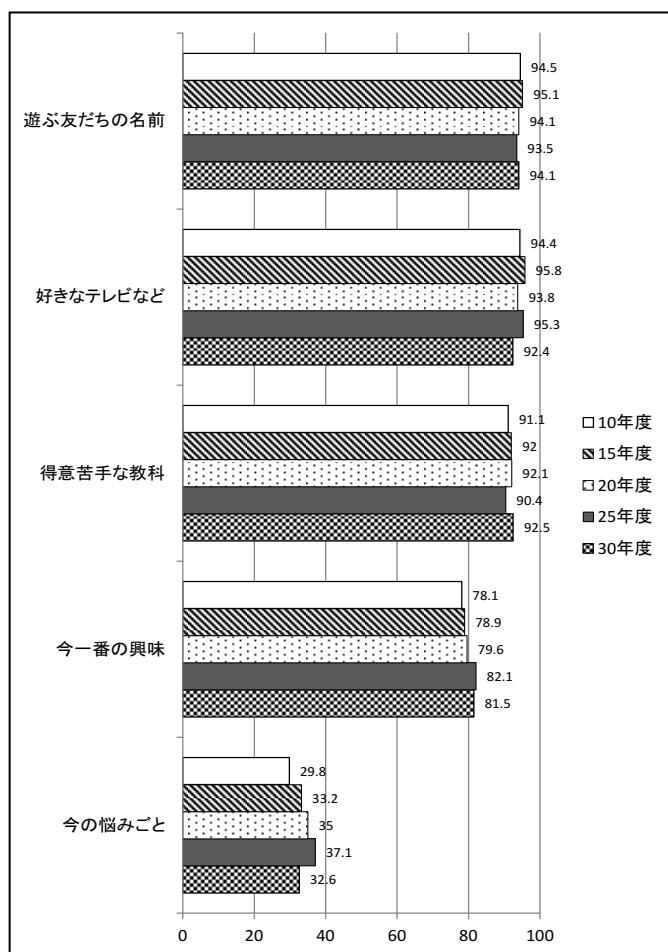
- A よく遊ぶ友だちの名前
- B 得意な教科、苦手な教科
- C 好きなテレビ番組や音楽

- D 今一番興味を持っていること
- E 今悩んでいること

※グラフは、「よく知っている」「知っている」を合わせたものである。

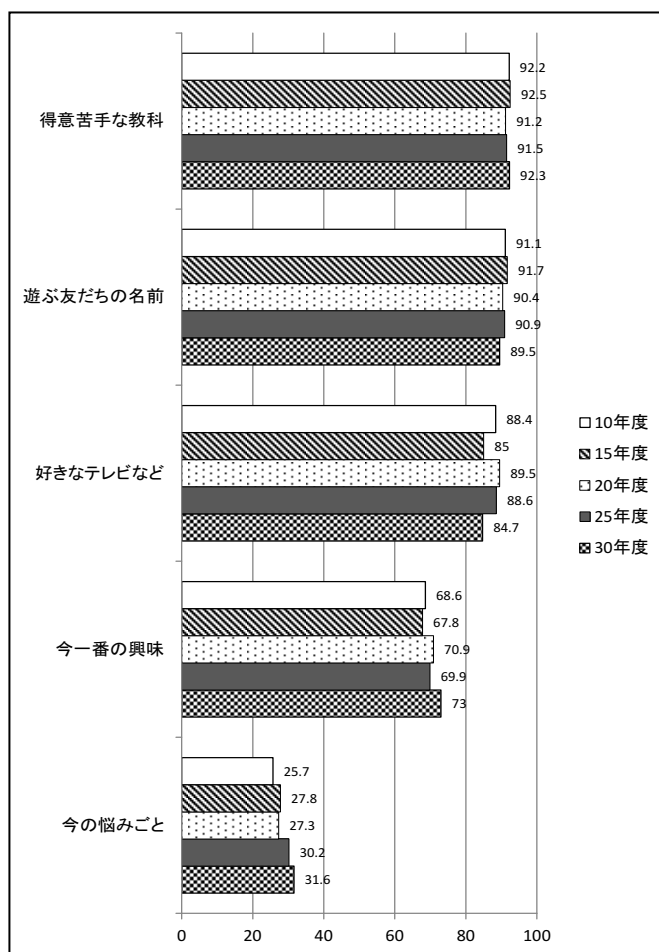
問21 お子さんについて知っているか(小学生保護者)

〈よく知っている+知っている〉



問21 お子さんについて知っているか(中学生保護者)

〈よく知っている+知っている〉



＜平成30年度の結果＞

「よく遊ぶ友だちの名前」は、小学生の保護者では9割半ば、中学生の保護者では、9割弱であった。しかし、子どもの内面に係る「今悩んでいること」については、小学生、中学生の保護者ともに、他の項目よりも低く、3割強である。

＜平成10年度から30年度を通しての変化＞

全ての項目について、中学生の保護者より、小学生の保護者のほうが、よく知っている割合が高い。しかし、中学生の保護者は「今悩んでいること」と「今一番の興味」を「よく知っている・知っている」と回答した割合は、増加傾向にある。(*)

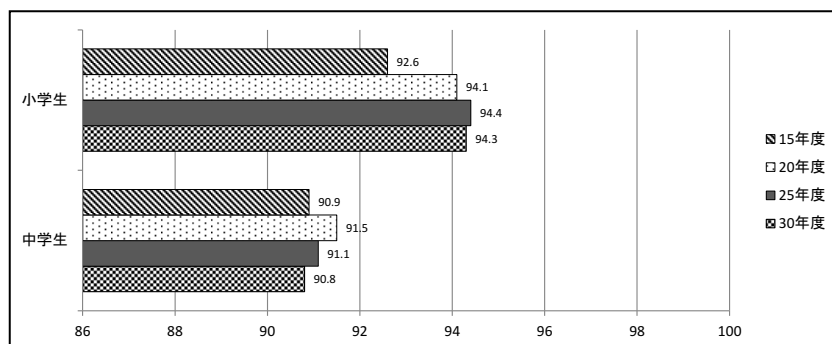
②子どもとの会話の内容

問27 あなたは、ふだんお子さんとよく話しますか。

1. はい

2. いいえ

問27 お子さんとよく話すか



※平成10年度は、設問の仕方が違うため除く

A どんな話をすることが多いですか（3つまで）

1. 学校のこと

2. 友だちのこと

3. 家族のこと

4. テレビ番組のこと

5. 趣味や遊びやスポーツのこと

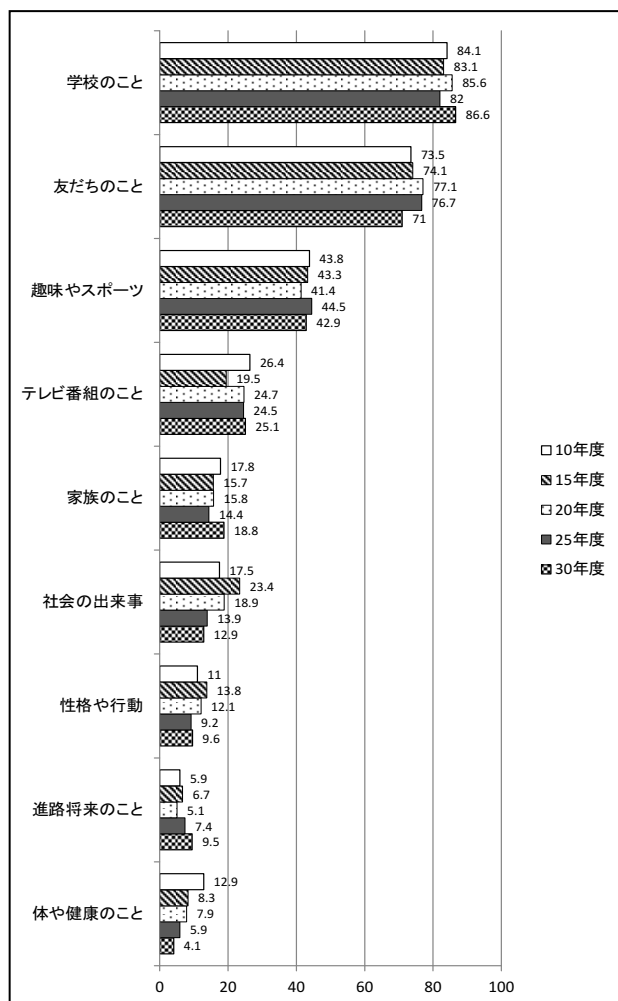
6. 世の中のできごとやニュースのこと

7. 体や健康のこと

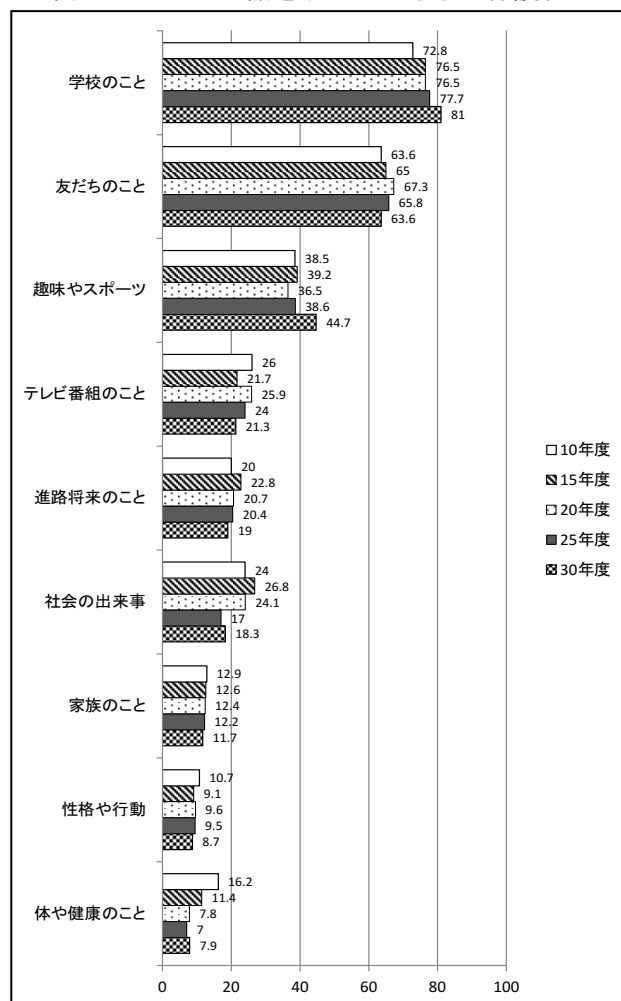
8. 性格や行動のこと

9. 進路、将来のこと

問27A どんな話をするか（小学生保護者）



問27A どんな話をするか（中学生保護者）



＜平成30年度の結果＞

「お子さんとよく話しますか」の設問に「はい」と回答している割合は、小学生の保護者の方が、中学生の保護者よりも高く、ともに9割以上である。

子どもとの会話の内容は、小学生、中学生の保護者ともに、「学校のこと」や「友だちのこと」が6～8割であり、「家族のこと」「世の中のできごとやニュースのこと」「性格や行動のこと」「進路、将来のこと」「体や健康のこと」は2割以下である。

「進路、将来のこと」については、中学生の保護者の方が高い割合である。

＜平成10年度から30年度を通しての変化＞

これまでの調査において、小学生、中学生の保護者ともに、「お子さんと話しますか」の設問に「はい」と回答した割合は、いずれも9割を超えている。小学生では「体や健康のこと」、中学生では「テレビ番組のこと」が、平成20年度の調査より、減少傾向である。^(*)



③しつけの様子

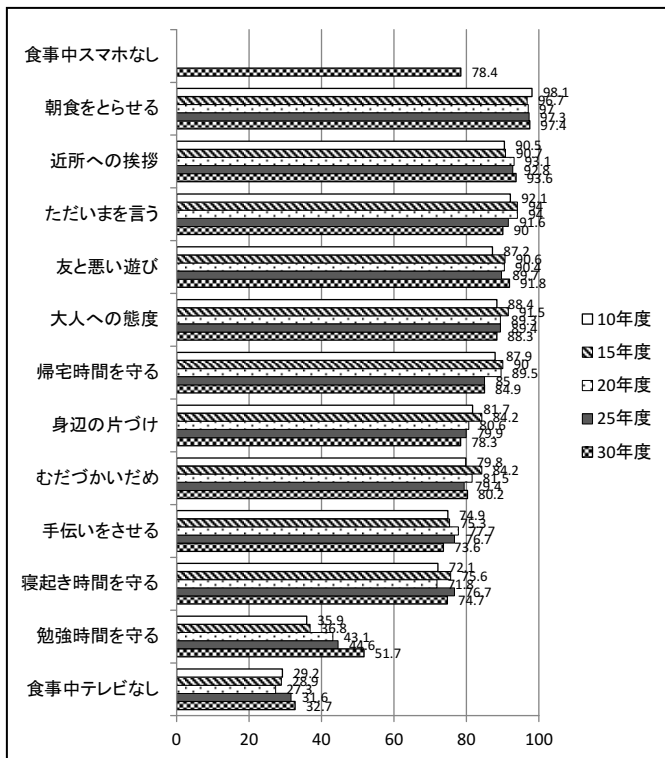
問 2 6 あなたは日頃、お子さんに次のようなことについて気をつけていますか。
 (必ず(よく)そうしている、ある程度(まあ)そうしている、どちらともいえない、
 ほとんどそうしていない、まったくそうしていないから選択)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| A 毎日朝食をとらせる | G 起床、就寝時間を守らせる |
| B 食事中にテレビを見させない | H 「行ってきます」「ただいま」を言わせる |
| C 手伝いをさせる | I 身の回りの片付けをさせる |
| D 近所の人へのあいさつをさせる | J むだづかいをさせない |
| E 勉強時間を守らせる | K 友達と悪い遊びをさせない |
| F 帰宅時間(門限)を守らせる | L 大人に対する口のきき方や態度をしつける |

※グラフは、「必ずそうしている」「ある程度そうしている」を合わせたものである。

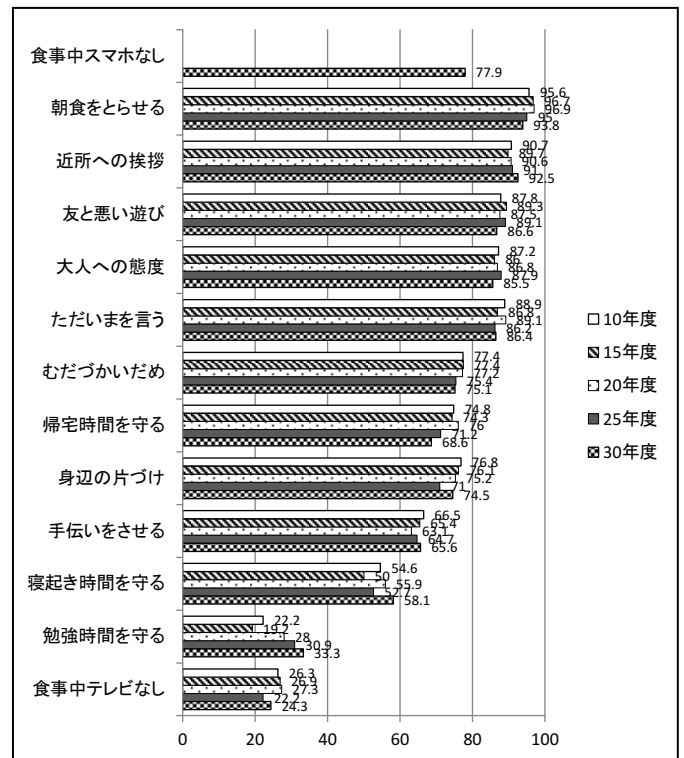
問 26 次のことに気をつけているか(小学生保護者)

〈必ずそうする+ある程度そうする〉



問 26 次のことに気をつけているか(中学生保護者)

〈必ずそうする+ある程度そうする〉



＜平成30年度の結果＞

日頃、保護者が気をつけていることで「必ずそうしている」「ある程度そうしている」を合わせると、「毎日朝食をとらせる」「近所の人へのあいさつをさせる」は、小学生、中学生の保護者ともに9割を超えている。小学生の保護者は「勉強時間を守らせる」が5割強で「食事中にテレビを見させない」が3割強であるが、中学生の保護者は2割～3割程度である。また、全ての項目で、小学生の保護者のほうが気を付けさせていることがわかる。

＜平成10年度から30年度を通しての変化＞

小学生、中学生の保護者ともに「近所の人への挨拶」は高くなっている。

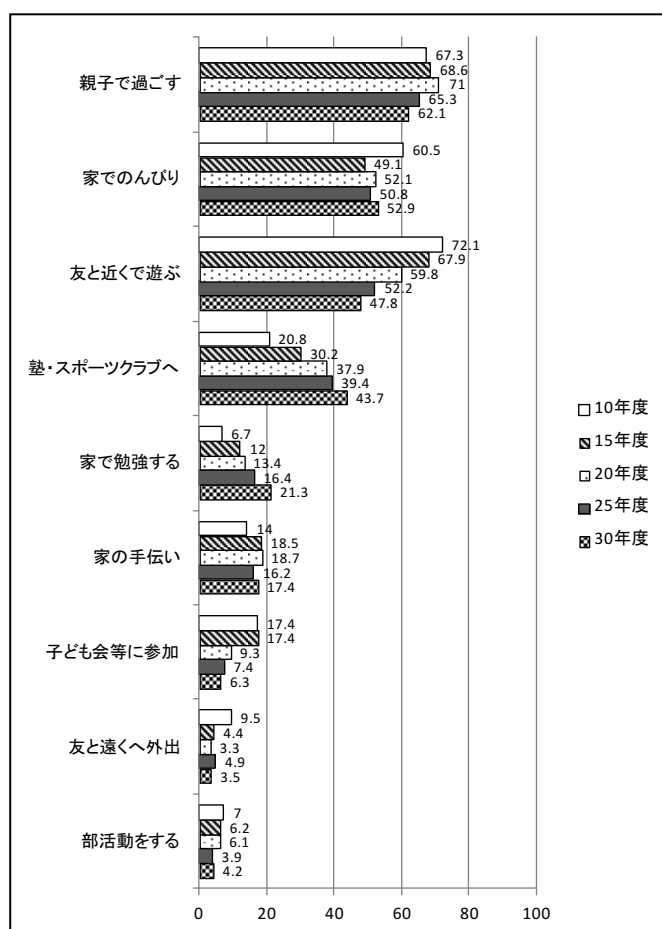
④土曜・日曜日の子どもの過ごし方

問 15 あなたのお子さんは、土曜日をどのように過ごすことが多いですか。（3つまで）

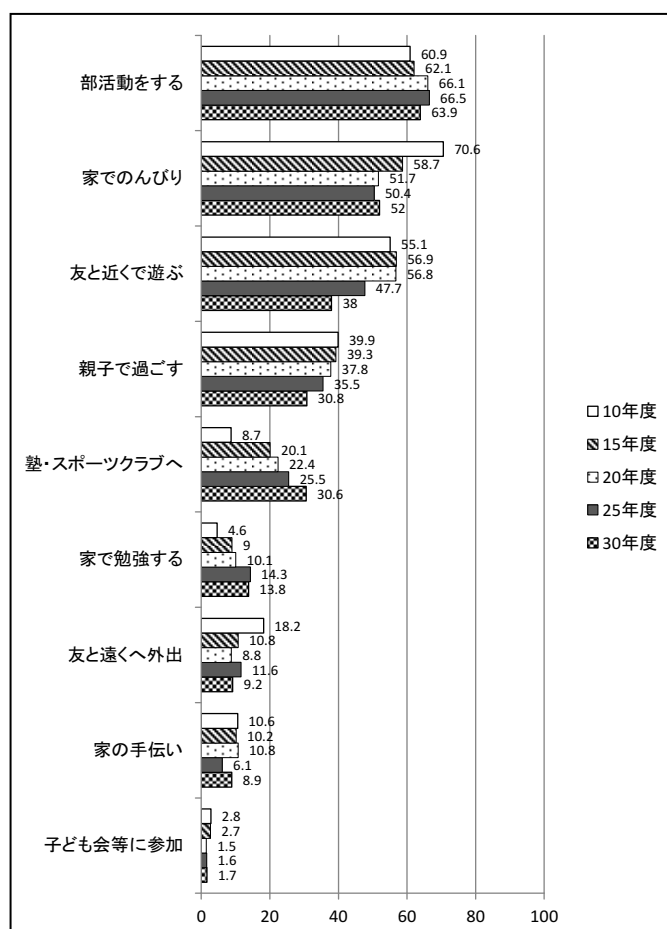
- | | |
|--------------|--------------------------|
| 1. 親子で過ごす | 6. 友だちと遠くへでかける |
| 2. 家の手伝いをする | 7. 部活動をする |
| 3. 家でのんびり過ごす | 8. 子ども会など団体活動に参加する |
| 4. 家で勉強する | 9. 学習塾・おけいこ・スポーツクラブなどへ行く |
| 5. 友だちと近くで遊ぶ | |

※平成10年度は、土曜日が月2回休みの時代であり、「土・日曜日の過ごし方」として回答を求めた

問 15 土曜の過ごし方（小学生保護者）



問 15 土曜の過ごし方（中学生保護者）



<平成30年度の結果>

土曜日の子どもの過ごし方について、回答で最も多いのは、小学生の保護者では、「親子で過ごす」、中学生の保護者では、「部活動をする」で、ともに6割を超える。次いで多いのは、小学生、中学生の保護者ともに「家でのんびりする」「友だちと近くで遊ぶ」である。

<平成10年度から30年度を通しての変化>

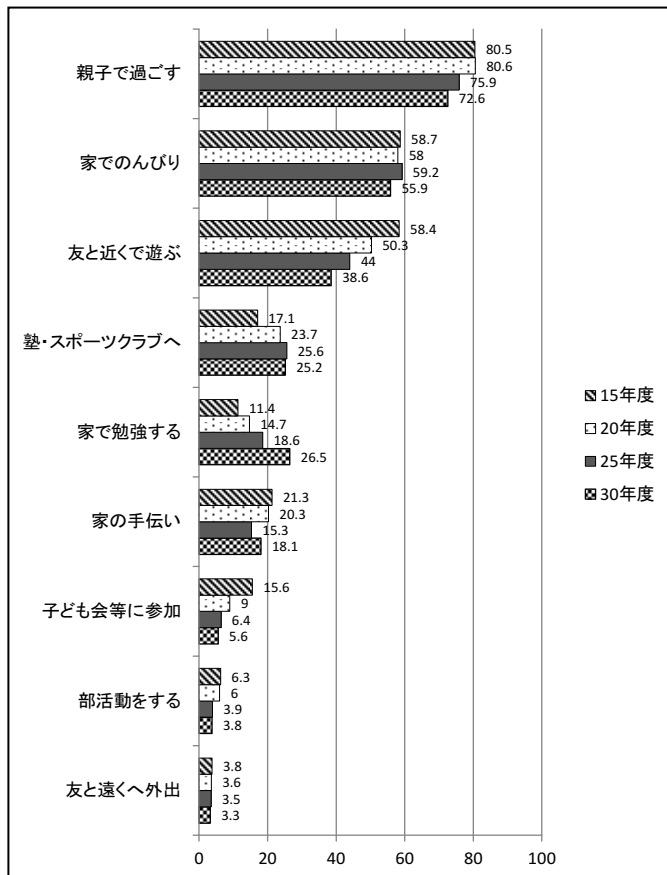
小学生の保護者では、「家で勉強する」と「学習塾・おけいこ・スポーツクラブなどへ行く」が増加傾向であり、「友だちと近くで遊ぶ」「子ども会などに参加」が減少傾向である。^(*)

また、中学生の保護者では、「親子で過ごす」と「友だちと近くで遊ぶ」が減少傾向であり、「学習塾・おけいこ・スポーツクラブなどへ行く」が増加傾向である。^(*)

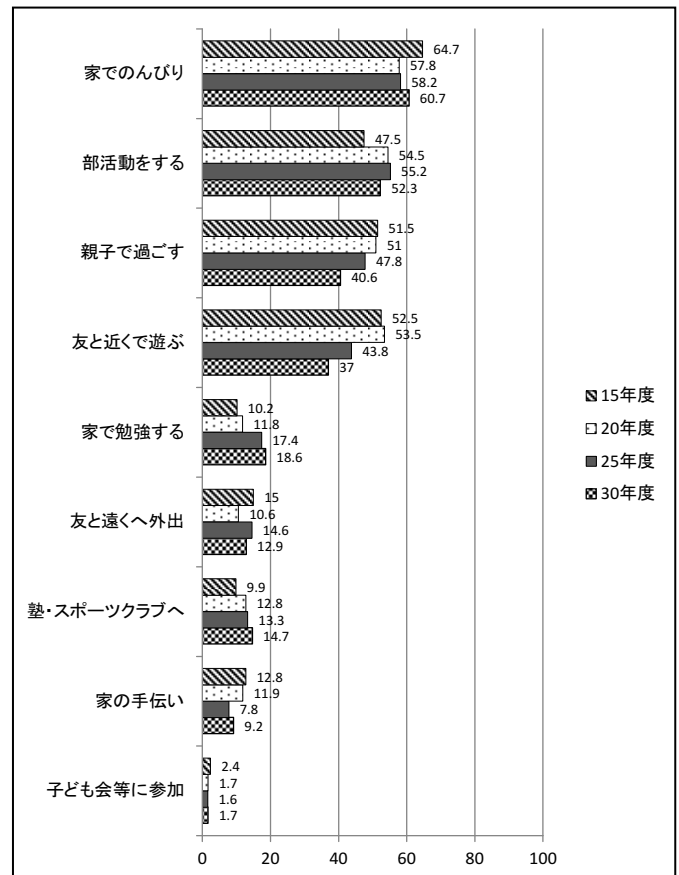
- 問 1 6 あなたの子どもさんは、日曜日をどのように過ごすことが多いですか。（3つまで）**
- | | |
|--------------|--------------------------|
| 1. 親子で過ごす | 6. 友だちと遠くへでかける |
| 2. 家の手伝いをする | 7. 部活動をする |
| 3. 家でのんびり過ごす | 8. 子ども会など団体活動に参加する |
| 4. 家で勉強する | 9. 学習塾・おけいこ・スポーツクラブなどへ行く |
| 5. 友だちと近くで遊ぶ | |

※平成15年度より実施。

問 16 日曜の過ごし方（小学生保護者）



問 16 日曜の過ごし方（中学生保護者）



＜平成30年度の結果＞

小学生の保護者で多いのは、「親子で過ごす」「家でのんびりする」「友だちと近くで遊ぶ」、中学生の保護者で多いのは、「家でのんびりする」「部活動をする」「親子で過ごす」である。

土曜日の過ごし方と比べると、日曜日の方が、小学生、中学生の保護者ともに、「親子で過ごす」「家でのんびりする」が多い。

＜平成15年度から30年度を通しての変化＞

小学生の保護者では、「家で勉強する」が年々増加傾向で、「友だちと近くで遊ぶ」が年々減少傾向にある。（*）

中学生の保護者では、「親子で過ごす」と「友だちと近くで遊ぶ」が減少傾向である。（*）

小学生、中学生の保護者とも、「学習塾・おけいこ・スポーツクラブなどへ行く」が増加している。

⑤進路に対する考え方

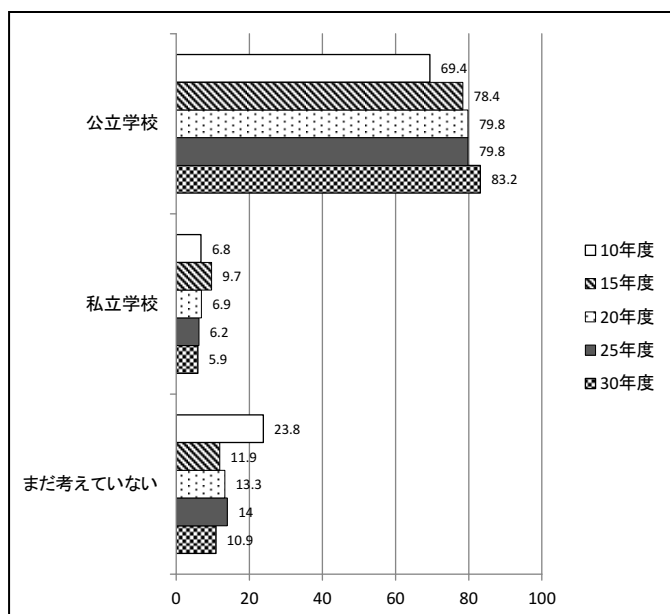
問 2 2 あなたは、お子さんを公立・私立学校のどちらに進ませたいと思っていますか。

(小学生の保護者は中学校を、中学生の保護者は高校等の上級学校をイメージして回答)

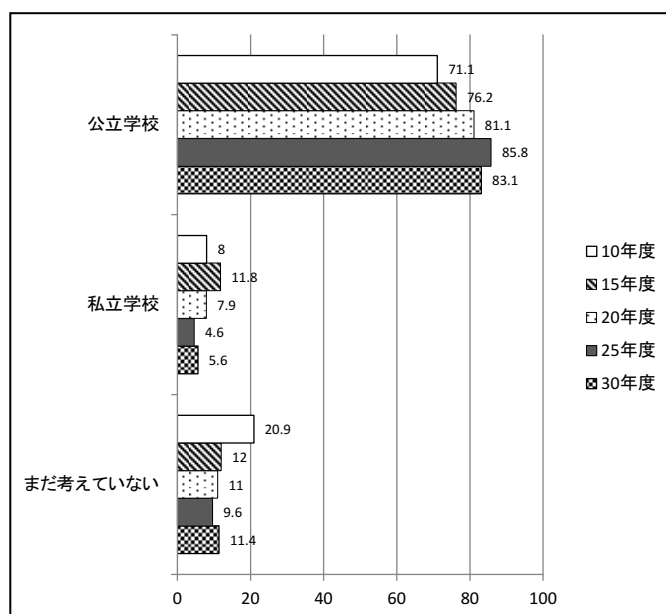
1. 公立学校 2. 私立学校 3. まだ考えていない

※「小学生の保護者は中学校を、中学生の保護者は高校等の上級学校をイメージして回答してください。」は、平成15年度の調査から追加した。

問 22 進学校の希望（小学生保護者）



問 22 進学校の希望（中学生保護者）



<平成30年度の結果>

進路に対する考え方は、小学生、中学生の保護者ともに、「公立学校への進学を希望する」が8割強である。

<平成10年度から30年度を通しての変化>

進路に対する考え方は、小学生の保護者は「公立学校」は年々増加している。^(*)しかし、中学生の保護者は30年度で初めて、減少している。

⑥進学に対する考え方

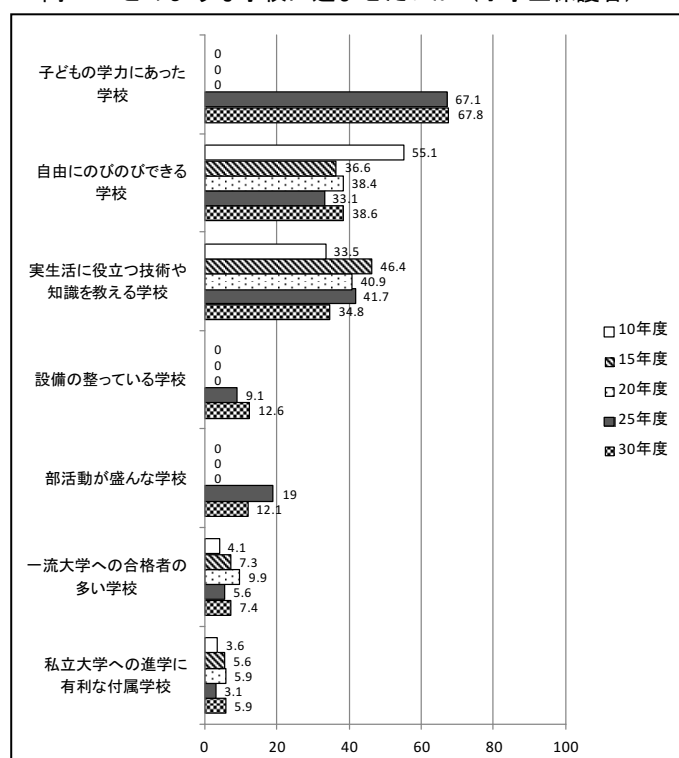
問 2 3 あなたが、お子さんを高校へ進学させるとしたら、次の中でどのような学校に進ませたいと思いますか。(2つ選ぶ)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 生徒が自由にのびのびできる学校 | 5. 実生活に役立つ技術や知識を教える学校 |
| 2. 校則やしつけがきびしい学校 | 6. 設備が整っている学校 |
| 3. 一流大学への合格者の多い学校 | 7. 部活動が盛んな学校 |
| 4. 私立大学への進学に有利な付属学校 | 8. 子どもの学力にあった学校 |

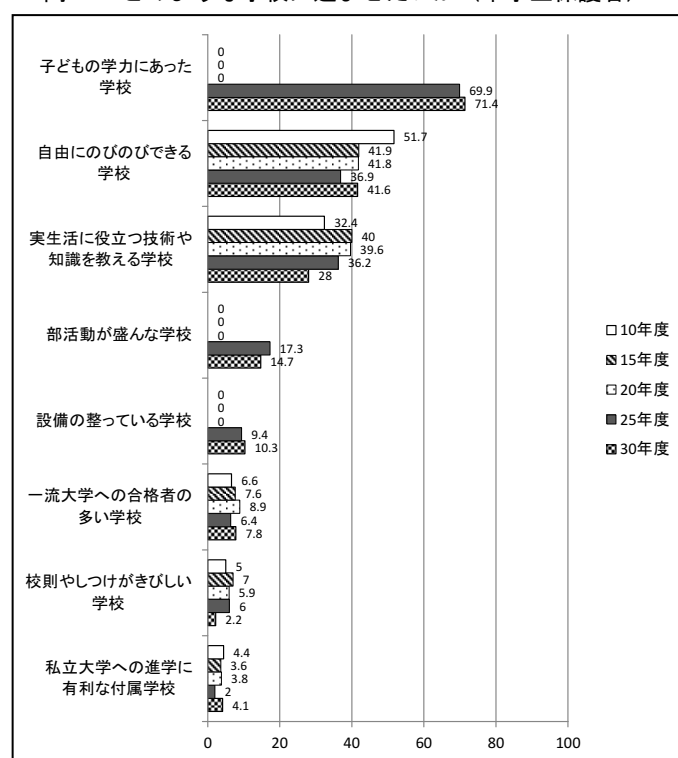
※平成10年度は、1～5の選択肢から1つ選ぶという設問

※平成25年度は、6. 7. 8. の選択肢を追加し、2つ選ぶように変更

問 23 どのような学校に進ませたいか（小学生保護者）



問 23 どのような学校に進ませたいか（中学生保護者）



<平成30年度の結果>

進学する高等学校に対する考え方は、「子どもの学力にあった学校」の割合が、小学生では7割弱、中学生では7割強である。ついで、「生徒が自由にのびのびできる学校」が多く、4割前後である。

<平成10年度から30年度を通しての変化>

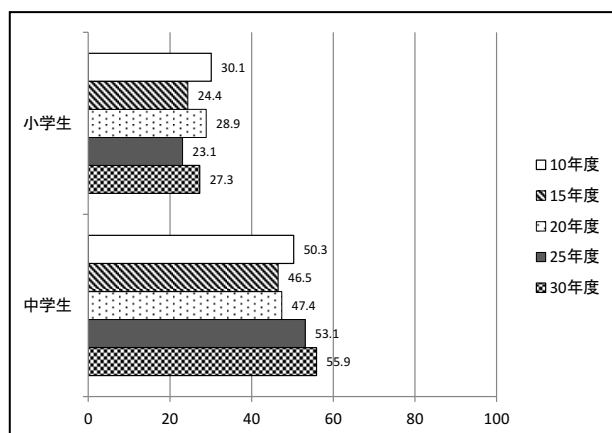
中学生の保護者では、「自由にのびのびできる学校」が年々減少していたが、平成30年度では増加している。

⑦学習塾に対する考え方

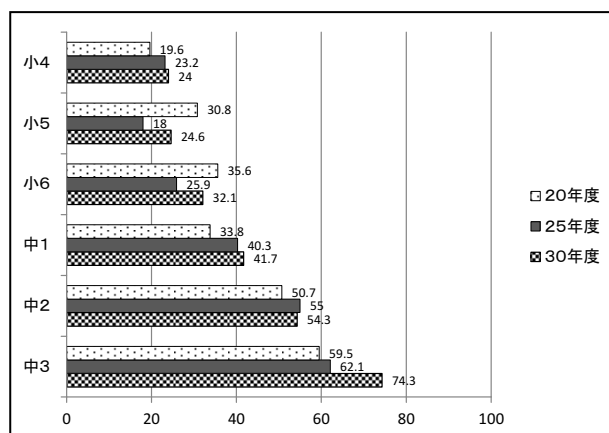
問30 あなたのお子さんは、学習塾に通っていますか。

1. 通っている 2. 通っていない

問30 学習塾に通っている



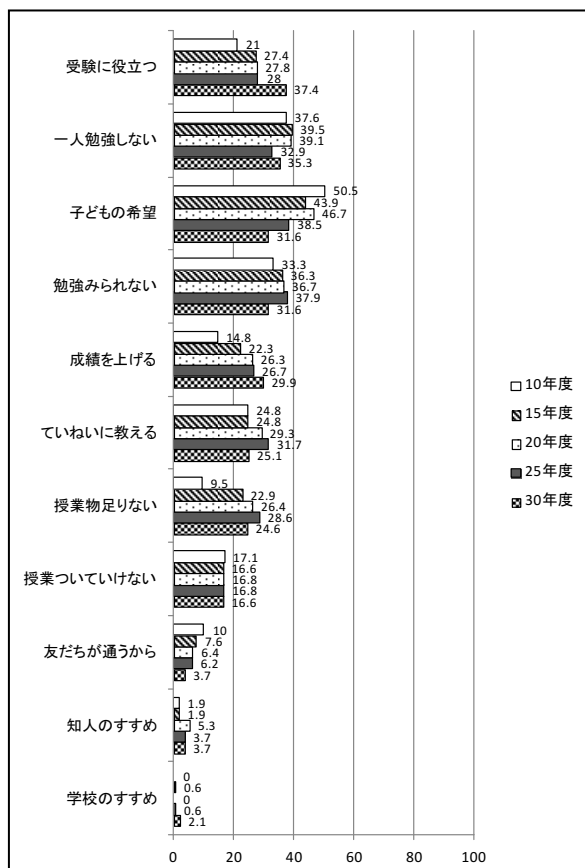
参考（学年別グラフ）学習塾に通っている



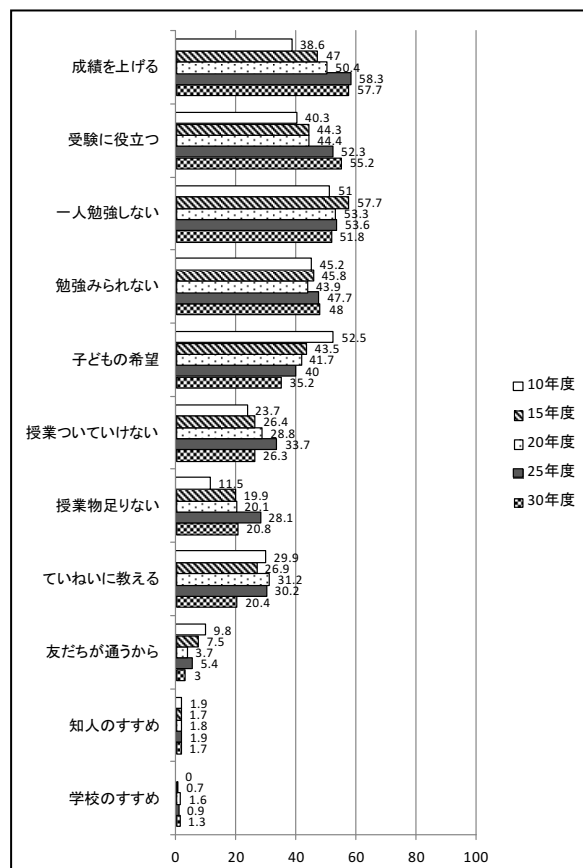
A あなたのお子さんを学習塾に通わせている理由は何ですか。（いくつでも）

1. 学校の授業についていけないから
2. 学校の授業だけでは物足りないから
3. 一人では勉強しないから
4. 家庭で勉強をみてやれないから
5. ていねいに教えてくれるから
6. 受験に役立つから
7. 子どもが希望するから
8. 子どもの友だちが通っているから
9. 学校の先生にすすめられたから
10. 知人にすすめられたから
11. 成績を上げるため

問30A 通塾の理由（小学生保護者）



問30A 通塾の理由（中学生保護者）



＜平成30年度の結果＞

「学習塾に通わせている」は、小学生の保護者で3割弱、中学生の保護者で5割半ばである。学習塾に通わせている理由としては、小学生の保護者では、「受験に役立つ」が4割弱、次いで「一人で勉強しない」「子どもの希望」が多い。

中学生の保護者では、「成績を上げるため」が6割弱、次に「受験に役に立つ」「一人では勉強しないから」が多い。

＜平成10年度から30年度を通しての変化＞

中学生の保護者は、平成15年度以降、学習塾に通っている割合が年々増加している。^(*)特に中3になると、7割半ばと大きく増加している。

中学生の保護者では、「受験に役立つから」が年々増加し、「子どもが希望するから」が年々減少している。^(*)



⑧家庭教育で重視すること

問 19 あなたは、お子さんの家庭教育で次のことをどの程度重視しますか。

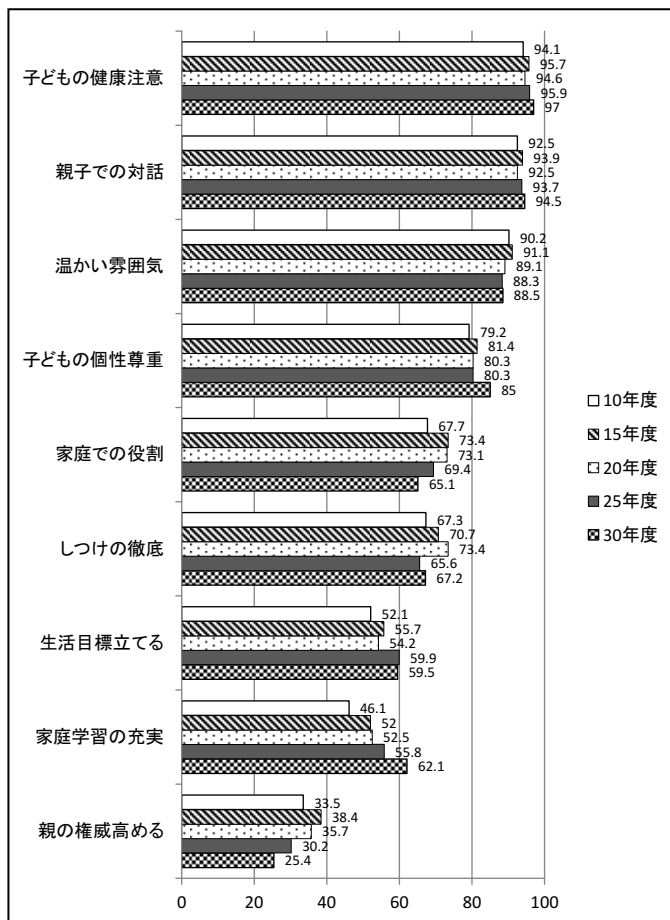
(とても重視する、重視する、どちらともいえない、重視しない、まったく重視しないから選択)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| A 子どもの個性を尊重すること | F 親子で対話すること |
| B 子どもの健康に気を配ること | G 家庭の温かい雰囲気をつくること |
| C 家庭での役割を与えること | H しつけを徹底すること |
| D 家庭学習を充実させること | I 親の権威を高めること |
| E 生活目標を立てさせること | |

※グラフは、「とても重視する」と「重視する」を合わせたものである。

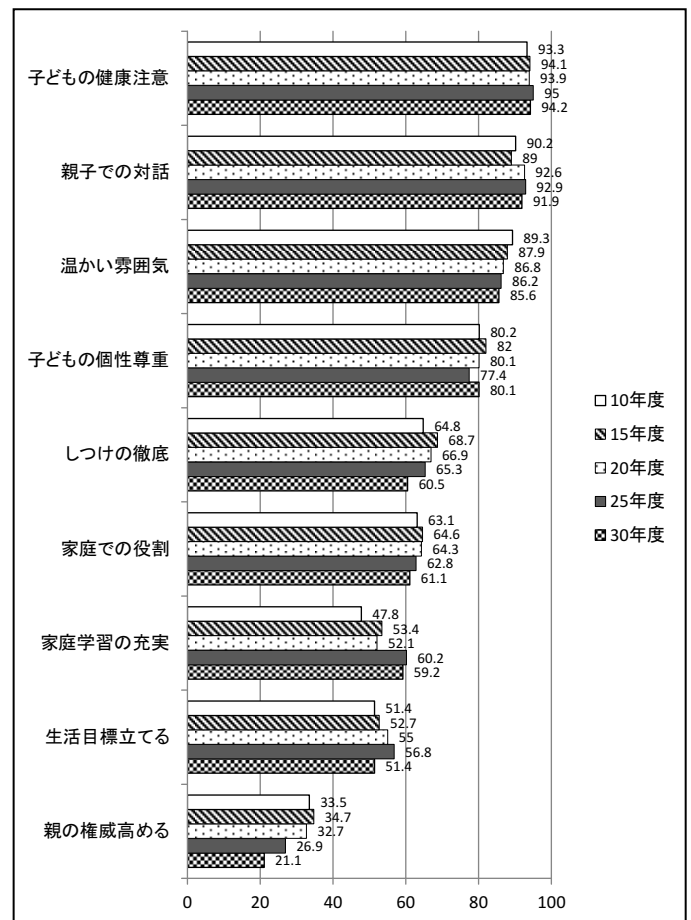
問 19 家庭教育で重視すること (小学生保護者)

〈とても重視する+重視する〉



問 19 家庭教育で重視すること (中学生保護者)

〈とても重視する+重視する〉



＜平成30年度の結果＞

家庭教育で重視することは、「とても重視する」「重視する」を合わせると、小学生、中学生の保護者ともに、「子どもの健康に気を配ること」「親子で対話をする」が9割を超える。

その他の質問項目は5割以上だが、「親の権威を高めること」については、小学生、中学生の保護者とも3割以下である。

＜平成10年度から30年度を通しての変化＞

家庭教育で重視することは、小学生の保護者では、「家庭学習を充実させること」が年々増加している。(*)